

審議概要

(1) 地下鉄とバスを利用した逸品探し街歩き体験ゲーム

- ▷ 採点結果 総合評価点：1.96 《不採用》
- ▷ 審議概要 まちづくりにゲーム性と体験を取り入れたアイデアは素晴らしく、1年目、2年目と協力店舗が拡大していることも地道な努力として評価できる。一方で、対象地域での協力体制の構築等、まちづくりの視点での工夫が見えないとの意見もあった。また、3回目の申請ということで、自立した運営プログラムについては重点的に審査した部分であるが、資金や物品提供の協力体制の構築等も見られず、助成金に依存しない収益源の確保が曖昧な点についても、不採用とした理由の一つである。本制度は「まちづくり」の視点が必要になるが、別の視点で展開していくことで、より収益性やゲーム性を高めることも可能な事業であると思われる。今後の発展的な展開を期待している。

(2) あらい七タプロジェクト

- ▷ 採点結果 総合評価点：2.00 《採用》
- ▷ 助成額 250,000円
- ▷ 審議概要 荒井地区の地域交流を活性化させる「七タプロジェクト」は、まちづくり活動助成事業の趣旨に沿った活動であり、新旧住民による地域課題解決やコミュニケーションを深める面での効果も期待できるとの意見が出た。一方で、個々の活動内容や収支計画が曖昧であるとの指摘が多々あったため、今一度吟味・検討していただきたい。また、「まち歩きペーパー」については、事業計画から目的や効果において不明瞭な点が多いため、今回は「七タプロジェクト」のみへ助成することとし、申請額の半分である250,000円での助成決定とする。また、①事業全体の大幅な見直し②他団体の協力を得ながら新たな地域交流の輪を広げることを付帯条件とする。

(3) 連坊オモシロ街あるき

- ▷ 採点結果 総合評価点：2.21 《採用》
- ▷ 助成額 上限 318,350円
- ▷ 審議概要 歴史と伝統の街である連坊・薬師堂地区に根付く文化という資産を、街あるきを通し一人でも多くの方々に触れていただきたい、魅力を伝えたいという熱意が意欲的な活動に繋がり、全員一致での採択となった。今年度からは座学も交え、歴史や文化についてより深く理解と興味をもっていただくという内容になり、歴史を知る上でより興味深いものになることを期待している。一方で、人材育成や運営体制、謝礼金額については見直す必要があるため、付帯条件とした。

今後は若い世代の方々にも参加してもらうなど、活動の輪を広げて、さらなる活性化を図り、持続可能な組織づくりを目指していただきたい。

(4) 貞山運河の魅力アップ事業

- ▷ 採点結果 総合評価点：1.69 《不採用》
- ▷ 審議概要 歴史的遺産である貞山運河を利活用し、体験を通して市民に親水の意義を伝え、地域の魅力アップや活性化を図りたいという熱い思いは感じ取れたが、この事業による「まちづくり」の効果については様々な疑問が挙げられた。さくばやEポートを楽しむという一度の体験や、関心のある方だけが参加するポエムツアーが、どうまちづくりに繋がるのか、事業計画からは読み取ることが難しく、今回は不採択となった。もう一度本来の目的である「貞山運河の魅力アップ」について確認していただき、再度企画を練り上げていただいたうえで、再度チャレンジしていただけることを期待している。

(5) 仙台屋台を活用した「集まる場を整える」プロジェクト

- ▷ 採点結果 総合評価点：2.20 《採用》
- ▷ 助成金額 500,000円
- ▷ 審議概要 仙台屋台を屋外空間の場所として多様に活用するというユニークな企画は、企画の趣旨、新鮮さ、熱意において特に高い評価を得た。一方で、活動費の大部分を屋台の修繕費が占めているため、単なる修繕イベントで終わらない、意義のある事業活動を望むという意見や、仙台屋台を活用したイベントの具体性が弱いとの意見があった。よって、①事業の実施スケジュール全体の見直し②WSで仙台屋台の文化的側面の説明も行い、単なる修繕活動で終わらせないことを条件に、採択とする。

(6) 動画を切り口としたアーバンキャンパス周辺まちづくりの担い手育成事業

- ▷ 採点結果 総合評価点：1.59 《不採用》
- ▷ 審議概要 地域の方や東北学院大学側の主体性を感じ取ることが難しく、地域内で、同じ温度感でまちづくりを進めていくことは可能なのかという疑問が出された。また、動画講座がどのようにまちづくりに結びつくのかについて、示された計画内容では説得力に欠ける部分があり、不採用となった。今回の事業プランは、三者連携があつてこそ実現するものであるため、それぞれの個性と主体性が十分発揮できる事業のあり方を再検討していただきたい。